

三島駅南口東街区再開発事業に関するアンケート調査でいただいた 心配・懸念のご意見に係る市の考え方と対応方針について

アンケート調査では、街のにぎわい・活性化や、地域雇用の創出、導入施設の提案など、再開発事業に期待するご意見とともに、事業に対する心配・懸念のご意見もいただきました。説明資料と重複する内容もありますが、心配や懸念に係る市の考え方と対応方針をまとめましたので、ご理解いただきますと幸いです。

1 新型コロナウイルス感染症について

Q) 再開発事業よりも、新型コロナウイルス対策を優先すべき。アフターコロナを見据えた事業計画とすべき。 など

A) 新型コロナウイルス感染症については、経済対策、公共施設における対策などに取り組んできたほか、現在は、ワクチン接種に総力を挙げて対応しています。ワクチン接種が進むことで、新型コロナウイルス感染症の収束への道筋も見えてくるものと考えています。

テレワークの普及により働き方や生活様式が変化していることなどの環境変化や、三島駅前に求められている機能を的確に捉え、この再開発事業が新型コロナウイルス感染症の収束後の三島市の発展につながる事業となるよう引き続き取り組んでいきます。

2 地下水・湧水について

Q) 地下水・湧水への影響が心配である。しっかり地下水の影響調査を行うべき。西街区と比べ東街区は建物基礎と地下水との距離が近い。 など

A) 地下水・湧水の保全の重要性は事業関係者とも共有しており、地下水に影響を与えない建築方針としています。また、市では地下水モニタリングを三島駅周辺で継続的に実施し、「三島駅南口周辺開発地下水対策検討委員会」で地下水保全策の内容などを確認しています。地下水への影響については、建物基礎と地下水の距離のほか、基礎構造物の詳細や、施工方法、地下水モニタリングの結果などを総合的に判断することが重要です。

準備組合が実施する基本設計では、地下水対策に関する検討も進められていますので、引き続き、市民の皆さんにご理解を深めていただけるよう説明に努めていきます。

3 景観について

Q) 駅前に高層建築物ができるとう富士山が見えなくなるのではないか。三島に高層建築物は好ましくない。 など

A) 三島駅周辺では、現時点でも富士山が見える場所は少なく、市内全体でも、富士山を美しく望める場所は貴重です。そのため、このような場所を景観条例に基づき眺望地点として指定し、保全に努めています。

現在の計画は、事業協力者募集の際に、都市景観の専門家も含めた選定審査会により選定されたものです。選定審査会では、地上に多く確保された空地を生かした広場の配置、景観に配慮した設計デザインなどが評価されたと考えています。

この広場が、周りに配置された商業施設などとの相乗効果により、にぎわい創出につながるものとなるよう関係者との協議を行っていきます。

4 財政負担について

Q) 市の財政負担が大きいことが心配である。市の借金（市債）の額が心配である。 など

A) この再開発事業により、市民の皆さんの利便性向上、雇用創出、交流人口と定住人口の増加などが見込まれ、新たな税収確保や市の財政基盤の強化などにもつながると考えています。令和2年2月に実施した費用便益分析と税収効果評価において、市の財政運営にも寄与する事業効果があることを確認できたものと考えています。

今後、事業効果をさらに高めるため、再開発事業の完了後を見据えて、東街区から中心市街地への回遊性を向上させる取組などを検討したいと考えています。

5 事業内容の周知や市民意見について

Q) 事業内容の周知が足りないのではないか。もっと多くの意見を聴くべきである。資料などの配布方法に工夫が必要である。 など

A) 事業内容については、市民説明会、広報みしま、市ホームページ等を活用して事業の経過や意義、事業の概要、進捗状況、地下水対策などをお知らせし、ご意見を伺ってきました。また、令和2年7月からは、対話形式で事業概要を説明しながら、市民の皆さんと意見交換するオープンハウスの手法を取り入れています。

市民の皆さんへの情報発信の方法や、事業へのご意見を伺うための方法については、今後も工夫を重ねていきたいと考えています。